

2020年第1回定例会

戦前から在住する「在日」コリアンとその子孫に 地方参政権を付与する法的措置を改めて求める陳情 採択討論

生活者ネットワークは、陳情第22号「戦前から在住する「在日」コリアンとその子孫に地方参政権を付与する法的措置を改めて求める陳情」の採択を求める立場から討論を行います。

本陳情にもあるように、1910年の韓国併合後、朝鮮人は臣民として納税や兵役の義務を果たし、その間、日本国内に居住する人については参政権も認められていました。現に、衆議院議員を務めた朝鮮人もいました。しかし、1945年の第二次世界大戦敗戦後には外国人とされ、参政権を奪われて今日に至ります。

海外には、外国人参政権を認めている国がいくつもあり、そのような国の国民の幸福度指数は、世界トップレベルです。参政権は基本的人権の一つです。調布市でも、国籍を問わず、居住するすべての人に基本的人権の一つである地方参政権が認められ、多様な人々の声が市政に反映されれば、誰にとっても優しい街づくりにつながり、市民の幸福度も高まるのではないのでしょうか。オリンピック憲章の精神をレガシーとし、これからあらゆる人々の垣根を取り除こうとしている調布市の議会として、在日コリアンとその子孫の地方参政権が認められるよう、国に強く働きかけるべきだと考えます。

以上の理由から、生活者ネットワークは、陳情第22号の採択を求めます。